



前橋 Maebashi

ハレルヤブックセンター

たより

発行▶前橋ハレルヤブックセンター支援委員会

住所▶〒371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3

電話▶027-212-8505 FAX▶027-212-8508

E-mail▶hallelujah2019@gmail.com ホームページ▶<https://maebashi-hallelujah.com/>

vol.14 2025年9月

信仰は聞くことから始まります

私がクリスチャンになって第一にしてきたことは、聖書を読むことです。聖書はクリスチャン生活の源であり人生の教科書です。聖書がなければどのようにこの世を歩むべきか、どのように信仰を保つべきかなど何もわかりません。信仰を保つのも信仰の成長も聖書によります。そもそも聖書がなかったら私たちは救われませんでした。

私にとって聖書を読み、イエス・キリストの救いを知り、信じ受け入れたことが人生最大の出来事でありました。聖書は最高の読み物です。

さて、その最高の読み物を私たちに提供してくれるのが前橋ハレルヤブックセンターです。私たちの教会は伝道活動が盛んで戸別配布でトラクトや聖書の小冊子などを配っています。ハレルヤ書店に

は伝道のためのトラクトや小冊子などを採しによく出かけます。また、特伝の機会にはハレルヤブックセンターの「ぶんでん」に来てもらい求道者の方に聖書書籍を紹介し大変役立っています。「信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストにつ

いての言葉を通して実現するのです」(ローマ10:17)とあるように、福音伝道は文書伝道無くして成り立ちません。

このように、聖書、その手引きとなる書籍、伝道のためのトラクトや御言葉に親しむためのいろいろな Goods が手軽に

手に入る聖書書店があることはなんと幸いなことでしょうか。私にとってハレルヤブックセンターに行くことは安らぎと励ましの時になっています。

群馬フェリーチェ学園 学園長 田村 正幸



クリスマス
特別キャンペーン



カレンダー・手帳

★★ 早期購入特典! ★★

10月6日 → 11月15日

カレンダー、手帳、または1000円以上お買い上げいただいた方にプチギフトを贈呈します。早期のお買い求めで安心とプチハッピーを!





★開店 6 周年記念トークショー★

『祈りについて語り合おう』

— みやようこ 宮葉子さんを
お迎えして —

2025 年 6 月 14 日書店開店 6 周年記念として、『こころのごはん 366 日の祈り』（いのちのことば社）の著者、宮葉子さんをゲストにお迎えし「祈りについて語り合おう」をテーマにトークショーを開催しました。キリスト教書店を励ましたい!、という思いを携え、惜しみなくご自身の歩みについて「祈り」について語ってくださった宮葉子さんのトークの抜粋をご紹介します。（本当はもっとお伝えしたい!）

『こころのごはん』をいただきながら



私は 20 代後半にクリスチャンになりました。教会では、話を聞いてもらって一区切りすると「葉子さん、それ祈りましょう」と祈ってくれました。聖書のことは

に信頼して、自分のためにこんなにも必死に祈ってくれることに感動しました。牧師夫人たちからは夕飯のごはんも、こころのごはんもいただいた 3 年間の母教会での生活でした。

洗礼を受けてから 3 年で牧師と結婚!とともに、今の教会での生活が始まりました。戸惑うことも多くありましたが、教会メンバーの方が、「葉子さんはこの教会に祈りを持って来てくれた」と言ってくれました。それは私の祈りがすごいからではなく、私が救われた母教会で教えてもらった通りをただけでした。

祈りに良い悪いはない。自由で多様。

でも、弟子たちはイエスさまに“祈りを教えてください”と聞きました。祈りには浅いか深いかはあるのだと思います。深く主に聞く、深く関わってもらう、そのためのあるがままの祈り。でも、最後は、イエスさまの十字架に向かう。祈りの中で、イエスさまの救いに確信が与えられ、恵みと感謝にスーッとフォーカスされていく。それが祈りなのかと思います。

～祈れなくなった 1 か月半～

とは言え、私にはまったく祈れなくなった 1 か月半がありました。その体験があったから、祈りの本が書けたとも言えます。自分のことについては神様に信頼していたけれど、教会の将来について考えると希望が持てなくなりバーンアウト。うつ症状が出てまったく動けなくなりました。

現場、つまり教会からも離れることに。聖書も読めず、祈れず、もう教会にも神様のもとにも戻れないと思っていたのですが、1 か月半経った頃、ふと「神様のところに、教会に帰ろう」と思いました。私は何もできなくなっていたのに、何もしなかったのに…です。後からわかったことですが、それはとりなしの祈りの力でした。教会の姉妹方が涙ながらに祈ってくださっていたのです。

その時はっきりわかったことは、祈らなくても、聖書を読ま

なくても、奉仕も何もできなくても、神様は私を見捨てない。こんな私でも神さまは愛してくれる。はじめの愛に戻りました。以前にもまして、神様に聞いて、受け取ることが大切だと思いました。祈ることは難行苦行ではありません。日々の神様との交わり、聖霊さまに助けてもらいながら、静かに聞いて受け取っていく日々です。

祈れない時どうすればいいですか

シンプルな一つの答えは、祈祷会に出ましょう。祈祷会って地味だけど、命綱。毎週難しくても月 1 回でいいので、1 年間出ると変わってきます。

祈りの言葉は出ない時はどうぞ賛美してください。賛美も祈りです。そして、みことば 1 篇・1 節をただ思い巡らすのもおすすめです。そのみことばが私に何を言っているのかなと思ひ巡らすだけで、景色がかわってきます。

「みんなの前で祈れない」というのも聞きますね。祈りは、練習が必要。まずは、安心できる人と数人で祈って

みてください。少し自分より上の年代、同世代、いろんな方と祈る。だんだん祈れるようになってと思います。でも、声に出そうと無理強いないで。時がくれば祈れると思うので…。



クリスマススペシャル

アドベントは 11 月 30 日から!

『アドベントクランツ』ワークショップ開催



11 月 26 日 [水]
13:30 ~ 15:00

クリスマスを迎える『アドベントクランツ』を作ります。
ご自宅用、教会用にぜひこの機会にご一緒に作りましょう。

- 会 場：前橋ハレルヤブックセンター
- 参加費：800 円（材料費・茶菓代含）+ ロウソク代（実費）
※お申込みの際、使いたいロウソクをお伝えください（右ページもご参照ください）
- 定 員：5 名 **要申込** 当店までお電話・メールでお申込みください。

Report

能登半島地震、
仮設住宅イベント参加

< 報告 >

前橋 HBC と支援友の会、そして群馬の多くの教会メンバーの協力を得て、災害支援会『能登ヘルプ』が募集している仮設住宅イベントに応募し、2025 年 2 月 19 日～21 日『着物リメイクワークショップ』を企画しボランティアを派遣することができました。

きっかけは、昨年、能登へボランティア参加した HBC 友の会会員の娘さんが持ち帰った着物でした。半壊のお家で家屋整理をお手伝いした際、手放さなければならない着物を「よかったら持って行って」と家主さんからいただいたそうです。「これで何かできないか」と相談を受け、書店長の福島さんにお話ししたところ、東北の震災での経験から「能登にミシンを持って行って、現地の方と着物や帯でバッグ作りましょうか」と今回のイベント開催に至りました。

実はそれより前にも、昨年 9 月能登が豪雨に見舞われた際に沢山の古タオルが必要となり、HBC 支援委員教会が能登へ直接お届けできることもあって、書店でも協力を募ったところ、たくさんの方がタオルを持ち込んでくださいました。

その事が思い出され、今回の企画も前橋 HBC を通して祈りと協力を募ることに。事前準備



として、帯や着物、裁縫グッズの提供、茶菓子の提供、リメイクバックの見本作成、資金援助（ガソリン代、宿泊費、食費補助）福島ミシンさんからは 6 台のミシンを提供（内 4 台は現地への寄付 OK の物）していただきました。

そして、現地へは 80 ～ 15 歳老若男女合わせて 6 名が派遣されることになりました。福島店長も一緒です。2 月 19 日、群馬を出発して車で 5 時間後に金沢到着。『能登ヘルプ』さんのアレンジにより、2 カ所の仮設住宅でのイベント開催に備えました。

2 月 20 日 穴水町港町団地

仮設住宅の中にある集会所が会場。13 名の方が参加してくださいました。この地域のほとんどの方は、蔵をお持ちだったそうですが地震で家も蔵も崩れて、蔵に入れてあるものは取り出せず手放すしかなかったそうです。「泣きながら、祖母の代、母の代の着物もたくさんゴミ袋に入れたのよ」と話していました。「こういうイベントは今までなかったからうれしい」と話してくださいました。参加された方から「ミシンを手放してしまったから、ミシンがあったらうれしい」とお声かけいただき、地区長さんに相談し、仮設住宅集会場にミシン 1 台を贈呈することが

できました。

2 月 21 日 志賀町住宅

小学校の敷地に設置されている仮設住宅でした。14 名参加。小学校内の一部屋が集会室となっていて、そこが会場です。「裁縫好きだったけど、地震で裁縫道具も布も着物もみんな処分した」とおっしゃる方が多くいらっしゃいました。基本は同じ型のキットなのですが、生地や色合わせやちょっとしたアレンジを加え、皆さんご自身の腕前とセンスを光らせていらっしゃいました。志賀町社会福祉協議会の『志賀町地域支え合いセンター』の皆さんが見学に来ておられ、寄贈ミシンについて相談したところ「皆さんがこんなにイキイキ作っているのを見て、こういう機会がもっとあればと思っていたので」と、センターにミシン 2 台を寄贈することができました。

前橋 HBC が拠点となったことで、群馬（近隣県）の教会・クリスチャンが一つのチームとなることができ、支援の輪が広がりました。今後についても検討しております。関心のある方ぜひお声かけください。



教会に書店がやってくる

『ぶんでんリレー』
参加教会
募集中！

書籍やグッズを入れた BOX を教会にお届けし、礼拝後や集会で販売していただく『ぶんでんリレー』。礼拝後本を選べて嬉しい、求道中の方に本を紹介できた、などの声も届いています。クリスマス前にも便利なこのシステム、ぜひご利用ください！

クリスマスキャンドル特集

さまざまなものを取り揃えております。お電話等で注文していただくと、ご希望のもの・ご希望の数を確実にご準備できます。



LED キャンドル赤 / 白
¥1,320
(直径 7.5cm × H15cm)
左ページのクランツで使用



LED ティーライト
¥220
(直径 4cm × H 5cm)



テーパーキャンドル
赤 / 白各 1 本
¥209 ~ 308
(直径 2.2cm × H20/25/30/38cm)

スパイラルキャンドル
赤 / 白各 1 本
¥187 ~ 253
(直径 2.2cm × H15/20/25/30cm)

パープルキャンドル
1 本 ¥253
(直径 2.2cm × H30)

vol.14 おすすめの本、 教えてください。

『人はなぜ教会を去るのか』

(いのちのことば社) 1,320 円

勝本正實 著

今回紹介させていただく本のタイトルを見てドキッとしました。

共通性の高いテーマでありながら、なかなか考えたり話したりする機会はないかもしれません。比較宗教学に長く取り組んでこられた著者が、日本の他の宗教とキリスト教の違いを提示しながら、「なぜ教会

を去るのか」ということをさまざまな角度から考察し、文書として残してくださいました。

そもそも「人は何を求めて教会に来るのか」「“つまずき”となり得る課題」そして「信仰と生活を分けて考えてしまうこと」キリスト者と教会、そして社会からの視点をもって書かれた本書を読み、「私が今キリスト者として立ってられるのは、自分の力ではなく数多くの支えてくれた人の存在と神さまが備えてくれた」のだと感じました。

教会生活を続けていくことは、実はすごいことであり、「つまずき」は誰にでも起こりうることで、「一度つまずいても立ち上がれるかは、普段のディボーションによって神さまとの関係が築けているか、そして苦楽を共にできる信仰の友を得ているかが鍵となる」(本文より)。自分がどのように信仰者として歩み、違いのある人同士で認め支え合うことを問われ、語り合いたいと思う本でした。

前橋 HBC 支援友の会会員

前橋聖契キリスト教会 田村 帆菜

前橋ハレルヤブックセンター Little Bird



当店の書籍・グッズがインターネットでも購入いただける通販サイト『Little Bird』。ご利用者も増えてきました。●時間や距離の都合で店頭に行くことがむずかしい… ●営業時間外にも注文したい…そんな方におすすめです！ 通販サイトで注文して、店頭受取いただくことも可能です。(右上のQRコード参照)

支援委員会から ご協力をお願い

このニュースレターは、前橋ハレルヤブックセンター支援委員会への献金で発行されております。今後の継続に向けて、皆さまからのご支援・ご寄付をよろしくお願いいたします。また、支援委員会に加入してくださる教会・施設・企業等も引き続き募集しております。ぜひご協力ください。

口座名	前橋ハレルヤブックセンター支援
振込先	高崎信用金庫 前橋支店 (普通) 2226929

この本一冊一冊が
福音を宣べ伝え、
神様の栄光と イエス様の愛を
お届けしている！

そんなビジョンを持った本屋です。

前橋ハレルヤブックセンター 正職員募集

そんな献身の思いを持った方、
気になった方、ぜひお問合せください。

後継者のためにお祈りください。
お心当たりの方はどうぞ紹介ください。

【業務内容】

- ・レジ対応 ・定期発送
- ・受注・発注など在庫管理
- ・店舗レイアウトなど

【応募・問い合わせ】

電話：027-212-8505



Maebashi Hallelujah book center



<編集後記> 酷暑を乗り越え、「暑かったですわね」と互いを労いながら秋が始まり、体と心がホッとしたところで、恵みを振り返るような今回のHBCたよりになりました。

神様が日本にくださった「四季」という絶妙なバランスにしみじみ感謝。(Y・S)

前橋ハレルヤブックセンター

〒371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3

TEL 027-212-8505 FAX 8508

営業時間 11:00 ~ 17:00

休業日：水曜・日曜・祝日

